



作家といきもの



当県ゆかりの文学者の中にも、動物や昆虫などを飼育していた作家は少なくありません。けれど、生きものに向ける眼差しは、その作家によって独特のものがあります。

「小禽の外、一切の動物を余り好かない」と随筆に書いた秋聲。犬や猫以外にもたくさんの生きものを飼い、観察して、詩や俳句の題材とした犀星。犬に恐怖し、意匠としての「うさぎ」を集めつづけた鏡花。また、野の鳥を愛しその保護を訴えて日本野鳥の会を創設し、歌人として、野鳥を題材とする短歌のみをあつめた歌集『安達太良』を刊行した中西悟堂も忘れてはなりません。この他、犬派としては中野重治、坪野哲久、猫派としては加藤楸邨、その他多くの作家を、随筆や詩歌といった文学作品、動物たちと触れ合う作家の表情をとらえた写真などを通じ、ご紹介します。



室生犀星『動物詩集』
日本絵雑誌社



中西悟堂『安達太良』
長谷川書房



講演会



『盲導犬クイールの一生』から 豆柴センパイと捨て猫コウハイ ～幼少時代から思い巡る動物と人の関わり～

講師 石黒 謙吾氏(著述家・編集者)

日時 5月29日(日)14時～

定員 60名

申込 4月23日(土)10時より電話受付

WAN/



〈講師プロフィール〉

■著書には、映画化された『盲導犬クイールの一生』、糸井重里氏に高評価を得た『2択思考』、『分類王』の『図解でユカイ』他、『エア新書』『ダジャレ ヌーヴォー』『CQ判定 常識力テスト』『ベルギービール大全』など幅広いジャンルで多数。近刊著書は『分類脳で地アタマが良くなる』(KADOKAWA)。■プロデュース・編集した書籍も、ベストセラー『ジワジワ来る○○』(片岡K)、『ナガオカケンメイの考え』(ナガオカケンメイ)、『負け美女』(犬山紙子)、『ザ・マン盆栽』『読む餃子』(共にパラダイス山元)など200冊以上。■星稜高校卒業後、上京、名曲喫茶で働きながら油絵を描いて芸大3浪。ドロッパアウト後、出版の世界に。

ワークショップ

動物のうちわを作ろう!



日時 5月8日(日)13時～16時の間
所要時間30分程度

対象 どなたでも(小学4年生以下保護者同伴)

定員 先着50名 参加費 無料・申込不要

朗読会

★4月30日(土)16時～

「アブサン物語」(抄)(村松友視作)
朗読: 長田 哲也氏(北陸放送アナウンサー)

定員40名
参加費無料
申込不要

★6月11日(土)14時～

「蜜のあはれ」(抄)(室生犀星作)
朗読: 所村 佳子氏・茶谷 幸也氏(演劇アンサンブルかなざわ)

★7月30日(土)14時～

「鶴狩」(抄)(泉鏡花作)
朗読: 西本 浩明氏(演芸列車 東西本線/LLP技屋)



井上靖顕彰 鑑真まつり

朗読「闘牛」(井上 靖作) 出演 西本 浩明氏

日時 5月6日(金)11時～

参加費 要入館料、記念のお菓子付き(先着25名)

次回企画展予告 「作家と山山一日本文学百名山」(仮) 平成28年9月17日(土)～11月27日(日)(予定)

お問い合わせ

公益財団法人 石川近代文学館

〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目2番5号
石川四高記念文化交流館内 TEL 076-262-5464
URL <http://www.pref.ishikawa.jp/shiko-kinbun/>

《交通のご案内》

- ・JR金沢駅から北陸鉄道バスに乗り、香林坊下車 徒歩2分
- ・JR金沢駅から車で10分

